

# ファームステイ品質認証・向上支援制度のご案内

## ■ファームステイ品質認証・向上支援制度の目的

国際基準を踏まえた日本独自の「ファームステイ品質認証・向上支援制度」により、農泊地域における各種施設の品質向上に向けた多面的支援を行います。

## ■基本的な考え方と期待できる効果

品質認証・向上支援制度の実施

格付けや選別ではない「品質の底上げ」をめざし、農泊地域全体の向上を支援

「客観的基準」に基づく品質を評価、認証することで利用者に安全・安心を提供

協会の支援策を整備・公開することで評価や審査に消極的な実践者の参加を促進

宿泊施設のみではなく農泊地域の多様な施設を網羅する支援制度

実施による期待できる効果

達成すべき水準が明確となり業務改善ツールとして活用可能

質の高さをアピールし集客力の向上と適正な価格設定による収益力向上に貢献

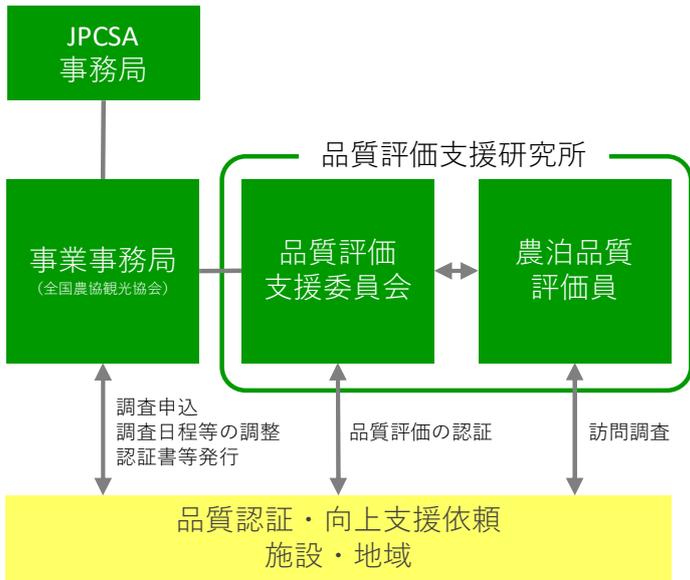
安心・安全を提供し旅行者ニーズとの円滑なマッチングに貢献

農山漁村の価値の再発見を促すとともに実践者の地域プライド醸成を促進

## ■実施イメージ



## ■品質認証・向上支援の手順



四半期単位で実施するため、お申し込みのタイミングにより異なりますが、目安として、お申し込みから認証書・品質認証マークの交付までは3か月程度となります。

- ① お申し込み・支援料納入後、調査開始
- ② 施設運営実践者による評価（主観的評価）
- ③ 農泊品質評価員による訪問調査（客観的評価）
- ④ ②③の相違に関する指導と助言
- ⑤ 評価支援委員会の承認後、「認証書」「品質認証マーク」の交付
- ⑥ 認証に関わらず継続的な助言、指導、支援の実施

## ■評価項目の概要

### 農泊宿泊施設10分類160項目

- ① 調査事前確認：15項目
  - ② コンプライアンス関連：13項目
  - ③ 事前情報提供・予約・価格・フロント：18項目
  - ④ 施設（共有部分、客室）：18項目
  - ⑤ 施設（浴室、洗面所・トイレ）・設備：26項目
  - ⑥ 料理・食事（食事提供有のみ）：15項目
  - ⑦ ホスピタリティ：17項目
  - ⑧ 外国人のお客様対応：22項目
  - ⑨ 環境・風景・立地：9項目
  - ⑩ 農泊の交流と体感：10項目
- ・ 先行して国内観光施設の品質の認証を実施している「一般社団法人観光品質認証協会（サクラクオリティ）」と提携したうえで、農泊施設に必要な項目を加味しています
  - ・ 「客観的評価」による品質評価制度として開始し、将来的に「利用者の評価（アンケート結果・口コミ等）の反映」導入も検討します
  - ・ 本協会作成「農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」への対応を加味しています

## ■評価の方法と規準

### 評価の方法

- ・ 各分類項目は○または×で評価
- ・ 特点結果を10分類のレーダーチャートにて提示し、施設の強み・弱みが見える化（体験教育施設は別枠にて評価）
- ・ 項目単位および総合的な評価についてコメントを提示
- ・ 特に改善を要するポイントについては、必要に応じ、改善に向けたアドバイスと支援策を提供

### 評価の基準

- ・ 「総合評価点」において○の数が全体の6割以上（3.0点以上）の施設を評価
- ・ ただし、「分類①調査事前確認 15項目」「分類②コンプライアンス関連13項目」および「分類⑦ホスピタリティ17項目」の○の数が各6割未満（3.0点未満）の場合不合格
- ・ 上記分類①、②および⑦をクリアしており、総合評価点が2.5点以上の施設については、「再審査対象」として改善指導(期限1ヶ月間)を行い、改善状況のヒアリング結果により確定する

## ■品質評価・向上支援の料金

### (1)宿泊施設実践者単独にて実施「品質評価支援料」

- ① 160項目フルバージョン：55,000円/軒
- ② 更新期間：3年更新

### (2)DMO等が一括して実施「地域包括品質評価支援料」

- ① フルバージョン10軒まで：495,000円  
以降49,500円/軒
- ② 更新期間：3年更新

※ 農泊評価員に係る経費は別途ご請求いたします。  
※ 「再審査対象」となり、再評価を受ける場合には別途料金がかかります。

※料金体系は変更となる場合があります

ファームステイ品質認証・向上支援制度に関する各種ご相談は、

一般社団法人日本ファームステイ協会  
農泊品質評価支援研究所まで  
E-mail: info@jpcsa.org